

(作成年月日) 2026 年 5 月 18 日

臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日制定、令和 5 年 3 月 27 日一部改正。）に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

高線量率密封小線源治療における患者の体動と臓器の変位、アプリータ形状の違いが及ぼす影響に関する後ろ向き研究

[研究の目的]

本研究は、これまでに当院で高線量率密封小線源治療を受けられた患者さんの治療計画データを用いて、患者の体動と臓器の変位によって放射線の当たり方がどのように変化するかを調べるものです。特に、治療計画中の体内臓器のずれが腫瘍に対してどのような線量変化を及ぼすか、また正常な臓器への影響がどの程度変わるかを評価します。さらに、使用するアプリータの違いによってどのように分布が変化するかを把握することを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院で 2025 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日に、婦人科腫瘍に対する高線量率密封小線源治療を受けられた方

○利用する情報

情報：治療計画 CT 画像・治療計画後(照射直前)に撮影した CT 画像・治療計画情報(線量分布・腫瘍および正常組織の輪郭情報)

○情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究責任者]

香川大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 診療放射線技師 川崎宏起

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 川崎宏起

電話 087-891-2291 (直通) 平日・8:30~17:15